

頭集
巻特

ドッグスクールとよ
豊原崇次さん

人と犬の絆の先に

「座れ!」「待て!」。飼い主の凛とした声に、機敏に反応する犬の姿。

ペットであれば、これだけでできれば十分かもしれません。

「ほえろ!」「探せ!」。現役警察犬・秋陽と

ドッグトレーニングアドバイザー・豊原崇次さんの間には、
他の犬と飼い主にはない、特別な役割と絆があります。

動物に関わる仕事で
人の役に立つために

平成18年から近江八幡市長福寺町
で「ドッグスクールとよ」を運営す
るドッグトレーニンングアドバイザー
の豊原さん。動物に関わる仕事に就
こうと決意したのは、高校卒業後で



上) 10年ほど前に大津市内の警察学校で開催された訓練披露の様子。豊原さんは2代目相棒・ミネナとともに出席しました(左)。右) 豊原さんの初代相棒・ロイド(右)。左はともに育ったゴールデンレトリバーのメロリー



「父から常々『人の役に立つ仕事をしなさい』といわれて育つてきました。もともと動物好きなこともあり、この仕事に興味を持ちました」と豊原さん。かつて京都市内にあったドッグトレーナーを養成する専門学校に入学し、卒業後に湖南市の滋賀山本家庭犬・警察犬訓練所で働き始めました。

同訓練所には、住み込みで約5年間在籍。所長の山本利三さん指導の下、家庭犬から災害救助犬まで、さまざまな犬のしつけ方を習いました。ジャパンケネルクラブ(JKC)の公認訓練士や災害救助犬指導士の資格を取得した後、25歳で独立。周囲のサポートを受けながら、家庭犬の出張訓練を実施する「ドッグスクールとよ」を開業しました。

「犬との関わり方に絶対の正解はないと思います」



訓練所の裏山を散歩中。特別な時間を設けるのではなく、普段の段の関わりの中で訓練を実施します

裏山を散歩中

探せ!

現在、豊原さんは平成27年生まれの警察犬・秋陽とともに活動。1年あたり約10回出動しています。行方不明者の捜索では、ほかの捜索隊の匂いが混ざってしまわないよう、警察や地元消防隊などに先駆けて、日の出とともに捜索を開始



ミニバンの後部スペースが秋陽の指定席。元気よく飛び乗ります

日没までほとんど休みなく山の中を歩き回る日もあり、ときには「本当にこの方角で合っているのだろうか?」という疑問がよぎります。しかし、豊原さんは相棒を疑いません。「大切なのは、まずは自分から犬を信用してあげること。これは家庭犬の出張訓練にも通じるポイントです」

「ドッグスクールとよ」には、無駄吠えや噛み付きなど、飼い犬のさまざまな問題行動に悩む飼い主から相談が寄せられます。豊原さんは、最初の体験レッスンで飼い主と飼い犬双方とコミュニケーションをとり、最適なトレーニングプランを考案。飼い主の自宅や普段の散歩コースなど、犬が問題行動を起こしている現場に足を運び、1対1の訓練を行います。



犬が何かを発見したときに取る行動をしっかりとチェック。何を伝えたいのかを正確に理解するのも訓練士の仕事です

「問題行動を起こす犬は、普段の生活でストレスを溜めていたり、こちらに何かを伝えようとしているケースが少なくありません。まずは、それが何なのかを理解するためにこちらから歩み寄って、少しずつ信頼関係を築いていくことが大切です」。そのために豊原さんが重視している

LINEARを起動して画像をスマホでスキャン! 豊原さんと秋陽の訓練の様子を見よう

ドッグトレーニングアドバイザー 警察犬訓練士 豊原崇次さん
犬を信用し、犬に信用される素敵なドッグトレーナー

近所の広場でふれ合いの時間も。秋陽は訓練を兼ねたボール遊びが大好き

警察犬 秋陽くん

愛称は「シュウ」。警察犬3年目。警察犬としての名前は「ツァールフォンデアヴァンダーファルケン号」



4月17日に大津市内で行われた囃子警察犬おび指導員囃子式の様子。秋陽も誇らしげです

のは、アイコンタクト。「座れ」や「待て」といった指示を出すときはきちんと目を合わせて、互いの気持ちを通わせようと試みます。「人が相手のときと同じです。いうことを聞いてくれるようになったら、次はリードから手を離し、信頼していることを伝えます。そうすると、犬もこちらを信じてくれるようになります」

飼い主と愛犬の間に立ち
双方の幸せに貢献

これまでに豊原さんが出張訓練を実施した犬は100頭以上。数多くの犬と関わってきたことになり、が、「一頭として同じ性格の犬はいませんでした」と振り返ります。

「さまざまな性格の犬がいて当然です。犬との関わり方に絶対の正解はないと思います。それでも、できることなら一人でも多くの人に愛される存在になってほしい。そのほうが飼い主も含め、みんなが今よりもずっと幸せになれると思います」と思いを語る豊原さん。

豊原さんの元には時折、訓練を卒業した犬の飼い主から連絡が届きます。「訓練方法を教えていただいた

お陰でうまくコミュニケーションがとれるようになり、前よりも犬たちと一緒に過ごす時間が増えました」とのメッセージは、栗東市在住の2頭の犬の飼い主さんから。豊原さんは「飼い主が愛犬とともに仲良くがんばってくれている。そのような姿を見たり聞いたりするのが、この仕事の一番のやりがい」とほほ笑みます。

今後はスクールの枠を超え、気の合う愛犬家たちで集まれる場所もつくる予定だという「ドッグスクールとよ」。これからも地域の安全を守る警察犬訓練士の活動とともに、さまざまな飼い主と飼い犬の幸せをつなぐ架け橋となってくれることでしょう。



れんちゃん(左:オス/ワイマラナー) ビートちゃん(右:オス/ミニチュアピンシャー)

Information
ドッグスクール とよ

(住所) 近江八幡市長福寺町59-5
(電話) 0748-37-3967 090-8752-6109
(出張訓練) 1レッスン4,000円(初めての人は無料のレッスン体験もあり)
(時間) 9:00~20:00 ※土日祝も対応
http://www.dogsschooltoyo.com